

開催報告

# 第31回測量調査技術発表会・ワークショップ2009 地理空間情報フォーラム2009

2009年6月19日 パシフィコ横浜 アネックスホールF203・204

測技協は6月19日（金）、「パシフィコ横浜」の地理空間情報フォーラム2009において「第31回測量調査技術発表会・ワークショップ2009」を開催し、延べ435人にご来場いただきました。

また、地理空間情報システム展会場において、6月17日～18日の3日間にわたり、4年目となる測技協ブースを開設し、3次元地形モデルの実演や事業紹介パネル等の展示を行いました。

## ●第31回測量調査技術発表会

会員各社の先端技術の発表、会員相互の情報交換、発表経験の浅い技術者や発表の機会が持ちにくい方々にプレゼンテーションの機会をもっていただく場として開催している測技協の測量調査技術発表会は、本年も測技協技術委員会の空中計測・マッピング部会、GIS部会、国土管理・コンサル部会、位置情報・応用計測部会の4部会に所属する技術者より計13編の発表が行なわれました。

変動する業界事情の中で地理空間情報システム展の会場規模縮小による影響も心配されましたが、会員各社の技術発表会に対する熱心な取り組みと技術者各人の向上心により31回目を開催できたことを感謝するとともに、今後のさらなる発展を期待いたします。

なお、この発表会の発表内容は2010年2月発行予定の先端測量技術102号（第31回測量調査技術発表会特集号）にて、論文、技術報告として掲載の予定です。



第31回測量調査技術発表会 測技協ワークショップ2009 6月19日（金）9：50～17：00 アネックスホールF203・F204

ガイダンス	9：50～	総司会／土谷 学（技術普及部会長）		
開会挨拶	9：55～	島村 秀樹（技術委員会委員長）		
技術発表会1部				
位置情報・ 応用計測部会	10：00～	JPGISにおける正確度と精度の取扱いの曖昧さについて	中根 勝見	アイソテクノロジー株式会社
	10：15～	既存航空レーザデータを活用した河川縦横断測量業務	鷓飼 尚弘	中日本航空株式会社
空中計測・ マッピング部会	10：30～	航空レーザスキャナによる道路斜面災害対策への活用	安海 高明	朝日航洋株式会社
	10：45～	過去の地形状況把握のための手法検討	檀上 拓也	国際航業株式会社
	11：00～	固定資産背景画像用デジタルオルソ作成システムの紹介	杉山 史典	朝日航洋株式会社
国土管理・ コンサル部会	11：15～	路面性状調査データを用いた道路舗装のベンチマーキング評価	岡田 真一	株式会社パスコ
	11：30～	インターネットを利用した橋梁マネジメントシステムの構築 I-BIMS (Ishikawa-Bridge Integrated Management Service)	荒井 秀和	株式会社日本海コンサルタンツ
技術発表会2部				
国土管理・ コンサル部会	13：00～	都市部における効率的な樹木調査について	廣瀬 葉子	国際航業株式会社
	13：15～	合成開口レーダーによる平成20年岩手・宮城内陸地震に伴う地形変動調査	金田 真一	アジア航測株式会社
GIS部会	13：30～	屋内外空間を統合的に扱う経路探索システムの提案	盛田 彰宏	株式会社パスコ
	13：45～	GPS携帯電話を利用した現地情報収集・管理システム	田巻 豊	アジア航測株式会社
	14：00～	ネットワーク空間上の空間的解析ツールの開発	佐藤 俊明	株式会社パスコ
	14：15～	インターネットで入手できる地図情報の利用事例	仙臺 幸宏	株式会社日本海コンサルタンツ
測技協ワークショップ2009 『測量技術の発展と広がる適用分野』				
	15：20～	ワークショップ要旨	司会/井上 誠	財団法人日本測量調査技術協会 専務理事
	15：25～	基調講演 インフラストラクチャー事業の今後と測量調査	中村 英夫	東京都市大学 学長
	16：15～	プレゼンテーション1 「DMIは何を変えたか」	住田 英二	アジア航測株式会社
	16：25～	プレゼンテーション2 「GPSは何を変えたか」	長谷川浩司	国際航業株式会社
	16：35～	プレゼンテーション3 「GISは何を変えたか」	嶋田 忠男	株式会社パスコ
総評と表彰			伊理 正夫	（財団法人日本測量調査技術協会 会長）

## ●測技協ワークショップ2009「測量技術の発展と広がる適用分野」

測量調査技術発表会に引き続き開催された測技協ワークショップ2009では、「測量技術の発展と広がる適用分野」をテーマに、東京都市大学の中村英夫学長による基調講演「インフラストラクチャー事業の今後と測量調査」と、現在までの測量調査技術の変遷をDM・GPS・GISの各技術分野ごとにレビューする形で、技術委員会メンバーからのプレゼンテーションが行われました。この基調講演およびプレゼンテーションの内容は、本誌に100号記念企画として掲載しています。



中村英夫先生の基調講演

## ●表彰

ワークショップ終了後、平成20年度の優秀技術論文および当日の優秀発表賞の表彰を行いました。優秀技術論文は20年度に測技協機関誌「先端測量技術」に掲載された論文の中から、論文としての有用性、完成度、分かりやすさなど5つの視点で審査され、会長賞1編及び奨励賞1編が選出され、表彰状および副賞が授与され、また、優秀発表賞は新規性、有用性、発表の分かりやすさなど当日の発表パフォーマンスを7つの視点から審査して選出された3人の発表者が表彰されました。



### 本年度表彰者

#### 【平成20年度優秀技術論文】

##### 会長賞

- ◆ 航空レーザスキャナを利用した崩壊地抽出支援手法

佐藤 匠 国際航業株式会社

##### 奨励賞

- ◆ 空間的解析手法を用いたダイナミック3Dビジュアライゼーション

佐藤 俊明 株式会社パスコ

#### 【優勝発表賞】

- ◆ 既存航空レーザデータを活用した河川縦横断測量業務

鷗飼 尚弘 中日本航空株式会社

- ◆ GPS携帯電話を利用した現地情報収集・管理システム

田巻 豊 アジア航測株式会社

- ◆ ネットワーク空間上の空間的解析ツールの開発

佐藤 俊明 株式会社パスコ

## ●技術展示（6月17日～18日）

地理空間情報システム展会場（展示ホールB）において、技術展示ブースを開設し「測量調査技術の変遷 2009」を本年も来場者参加型パネルとして展示いたしました。これは昨年展示した「測量調査技術の変遷パネル2008」に書き込まれた来場者の皆様のコメント、ご意見および新たな調査によって更新したもので、今年も多数の書き込みをいただきました。このパネルは今後も貴重な測量技術史となるよう更新していく予定です。

また、測技協の活動案内、セミナー開催案内のパネル展示に加え、空中計測・マッピング部会3次元データWGによる「3次元地形図データモデル作成手法」のデモンストレーションをPCを用いて行い、会場規模縮小に伴って例年の半分のスペースではありましたが、充実した展示内容となりました。

なお、「測量調査技術の変遷 2009」は本誌に100号記念企画として掲載しています。

### ●開催決定 発表募集

#### 【第32回測量調査技術発表会 ワークショップ2010】

平成2010年6月1日（火） 明治安田生命ホール

詳細は随時ホームページ等でご案内いたします。



システム展会場の測技協ブース